

中条家文書とは

山形大学が所蔵する「中条家文書」は、1972年（昭和47）に中条敦氏により本学に譲与されました。1992年（平成4）にはそのうちの233通が重要文化財に指定されました。

中条氏は相模国三浦半島の有力者、和田一族を出自としています。鎌倉時代から連綿と続く名族であり、中条家に伝来した文書群は中世越後国の戦乱や土地支配・一族の相克を映し出す貴重な史料群となっています。

今年是大河ドラマやアニメーションなどで源平の合戦や鎌倉時代に注目が集まっています。当館ではこれに合わせ、普段見ることのできない鎌倉幕府黎明期の貴重な史料5点を展示します。ドラマなどをきっかけに歴史に興味を持った方々の一層の興味関心を引き出し、中条家文書の魅力を広めることを目的とする企画展です。

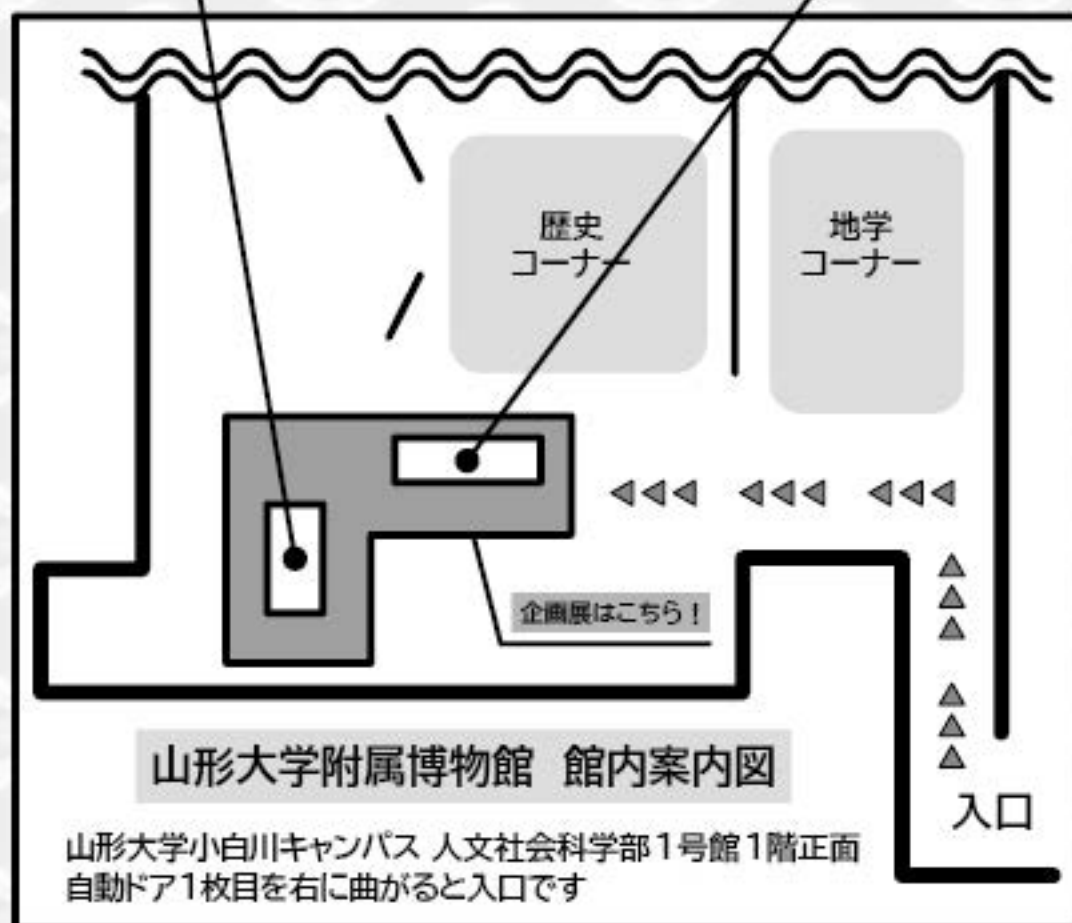
展示資料



関東下知状（元久2年2月22日）



鎌倉将軍（源頼朝）家政所下文（建久3年10月21日）



関連企画 QRコード

ギャラリートーク
(現地)申し込みフォーム



ギャラリートーク
Zoom 配信アドレス



お問合せ 山形大学附属博物館
〒990-8560 山形市小白川1-4-12
TEL 023-628-4930 Fax 023-628-4668
E-mail yu-hakukan@i.m.k.yamagata-u.ac.jp